

平成24年7月1日 発行

編集発行 145号

社会福祉法人
宇都宮市社会福祉協議会
宇都宮市中央1丁目1番15号
宇都宮市総合福祉センター内
電話 028-636-1215(代)
FAX 028-638-9856
<http://www.utsunomiya-syakyo.or.jp>

宇都宮市社会福祉協議会 検索

うつのみや



社協だより

ひろがる



ふれあい・いきいきサロン



宮の原地区社協



石井地区社協



陽東地区社協



「ふれあい・いきいきサロン」は、高齢者や障がい者、児童や子育て世代の親子など地域の方々が、自宅から歩いていける場所に気軽に集い、お茶会やレクリエーションなどのふれあいを通して、仲間づくりの輪を広げる交流の場です。

宇都宮市社会福祉協議会では、今年度から「ふれあい・いきいきサロン」設置の推進に取り組み、地区社協が主体となり福祉協力員や地域の関係団体等の協力を得ながら、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指していきます。

“うつのみや社協だより”は、「回覧」です。よろしくお願い申し上げます。

平成
23
年度

宇都宮市社会福祉協議会 事業報告

平成24年5月18日開催の理事会、5月30日開催の評議員会において、平成23年度の事業報告及び決算報告について承認されましたので、ご報告いたします。

1 地域福祉活動の推進

(1) 住み慣れた地域や家庭で安心して暮らし続けることができる地域社会の実現

①地区社会福祉協議会と連携による地域福祉活動の推進
ア. 福祉協力員活動の促進

地区社会福祉協議会ごとに福祉協力員を委嘱し、同じ地域で暮らす住民として、福祉に関する問題や悩み・不安や孤独感を抱える方々に対して、見守りや声かけを行うなど、「住民相互の支えあい運動」を推進しました。

- ・福祉協力員数 (39地区・合計2,259名)
- ・福祉協力員地域ブロック別研修会の開催 (5回開催・合計681名参加)



イ. ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の支援 (39地区社協で実施)

おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者の方々を対象に定期的に会食会を開催し、孤独感の解消や地域での仲間づくりを促進しました。



- ウ. 敬老会開催の支援 (39地区社協で実施)
- エ. 地区福祉まつり事業の支援 (7地区社協で実施)
- オ. 地区社協だより発行の支援 (4地区社協で実施)
- カ. 男性高齢者調理講習会開催の支援(9地区社協で実施)

②市社会福祉協議会の地域福祉活動の推進

ア. ファミリーケアサービス事業の推進

日常生活を営むうえで支援が必要な高齢者、障がい者等の世帯(利用会員)に、ヘルパー(協力会員)が有償で家事援助などのサービスを提供しました。



- (利用会員96人・協力会員42人・利用件数延3,252件)
- イ. 総合相談センター機能の強化
生活相談(月～金)・巡回相談・特別相談(法律相談等)
(相談件数 延962件)

- ウ. 福祉理美容出張費補助サービス事業の推進
(利用申請者 108人・補助延236件)

- エ. ふれあい訪問事業の推進(利用者502人・状況確認43件)
ひとり暮らしのおおむね70歳以上の高齢者の自宅を定期的に訪問し、乳酸菌飲料を手渡すなどの方法により、安否確認と孤独感の解消を図りました。



- オ. 福祉車両貸出サービス事業の推進
(貸出件数 延157件)

- カ. 車いす等貸出サービス事業の推進
(貸出件数 延347件)

- キ. 福祉機器・介護用品展示室の開設
(利用者 延124人)

- ク. 援護事業の実施 (行旅人 229人)

- ケ. 社会福祉資金貸付事業の実施 (貸付件数 2件)

- コ. 移送サービス事業の推進 (利用回数 延249回)

(2) ボランティア活動・市民活動の推進

① ボランティアへの理解の推進

ア. ボランティア養成・活動の推進

- ・各種相談・問合せ (延9,142件)
- ・ボランティア活動調整件数 (延900件)
- ・ボランティア登録数(176団体 8,434人、個人128人)
- ・ボランティア体験プログラムの実施
(エコキャップ集計・運搬12回・参加者延38人)
- ・ボランティア養成講座の開催
月1ぼらんていあSaturday(全8回・受講者延82人)
サマーボランティアスクール(全3回・受講者延50人)
災害福祉ボランティア養成講座(全5回・受講者延144人)
傾聴ボランティア養成講座(全4回・受講者延76人)

災害福祉ボランティアフォローアップ講座(受講者延23人)

イ. ボランティア団体への活動支援の推進

- ・ボランティア活動機材の貸出(福祉体験機材等)(188件)
- ・ボランティアルームの貸出(延190団体・1,289人)
- ・ボランティアロッカーの貸出 (36団体)
- ・ひとり暮らし高齢者友愛訪問の実施(訪問者数 50人)
- ・対面朗読サービスの実施(実施42回・利用者延11人・協力者延79人)

ウ. 福祉共育講座の充実

- ・出前福祉共育講座の実施(延114回・受講者延3,919人)
- ・福祉共育講座サポーター養成講座(全4回・参加者延82人)
- ・出前福祉共育講座連絡会の開催(開催1回・参加者5人)

エ. 善意銀行事業の推進

(預託金10件・払出13件、預託品48件・払出36件、収集物品1,205件)

②東日本大震災における災害ボランティア活動等の実施

- ア. 宇都宮市内における活動
- ・宇都宮市災害ボランティアセンターの開設
(平成23年3月16日～平成24年3月31日)
 - ・ボランティア活動状況
(登録人数842人・依頼件数119件・活動人数延417人)
- イ. 宇都宮市外における活動
- ・職員の派遣 (福島県内へ派遣 計3回・職員4人)
 - ・ボランティアの派遣
(宮城県石巻市・七ヶ浜町へ派遣 計6回・延194人)

ウ. 絆づくり防災講演会の開催

- ・開催日：平成24年3月24日
- ・内容：東日本大震災における宇都宮市社会福祉協議会の取組み報告・絆づくり防災講演会『釜石市の防災教育から考える“地域福祉”』
- ・参加者：381人



市内における災害ボランティア活動



ボランティア派遣(七ヶ浜町)



絆づくり講演会

(3) 地域福祉を支える基盤の整備

①関係機関・団体等との連携・協働の推進

- ア. 各種行事助成
- ・第5回宇都宮市民福祉の祭典
 - ・各種団体に対する補助(2団体)
 - ・各種団体に対する共催・後援
(共催2件・後援35件)



第5回福祉の祭典

②地域福祉活動への参画促進

- ア. 広報・啓発活動の強化
- ・広報紙(社協だより)の発行 (年4回発行)
- イ. 財政基盤の強化
- ・社協会員の拡大(会員109,834件・会費37,462,438円)
 - ・ぎんなん基金 (受入166件・14,805,085円)

2 介護保険事業の推進

- ①訪問介護 (利用延7,046件)・予防(利用延303件)
- ②通所介護 (利用延2,095件)・予防(利用延978件)
- ③訪問入浴介護 (利用延336件)・予防 (利用延4件)
- ④居宅介護支援
・ケアプラン作成 (利用延1,277件)

⑤障がい福祉サービス

- ・居宅介護 (利用延3,455件)
- ・生活介護 (利用延545件)



3 指定管理施設等の管理運営

①指定管理施設の管理・経営

- ア. 老人福祉センターの管理・経営 (5施設)
- ・ことぶき会館, ふれあい荘, やすらぎ荘, すこやか荘, 上河内 (年間延利用者 合計 220,488人)
- イ. 地域活動支援センターの管理・経営(3施設)
- ・雀の宮作業所, 若草作業所 (利用登録者 計 35人)
 - ・障がい者福祉センター
講座事業 (15講座・利用登録者 130人)
地域活動支援事業 (利用登録者 11人)
医療生活相談 (4回・利用者 4人)
- ウ. 総合福祉センターの管理・経営 (2施設)
- ・宇都宮市総合福祉センター
(開館344日・会議室利用延91,136人)
 - ・河内総合福祉センター
(開館296日・
会議室利用延11,539人・
大広間利用延15,189人)
- エ. 茂原健康交流センターの管理・経営
(開館278日・利用者延160,979人)



宇都宮市総合福祉センター

②市からの受託事業の実施

- ア. 障がい者生活支援センター事業の実施(2カ所)
- ・総合福祉センター, 子ども発達センター
(支援者延1,403人・相談件数延3,436件)
- イ. 地域包括支援センター事業の実施(2カ所)
- ・地域包括支援センター御本丸, 上河内地域包括支援センター
(相談件数 延216件)
- ウ. 日中一時支援事業の実施(3カ所)
- ・あつとほーむすずめ, あつとほーむかわち, あつとほーむうだい
(利用者 延5,275人)
- エ. 訪問介護員養成研修事業の実施 (修了者39人)
- オ. 身体障がい者福祉バス事業の実施
- ・「友愛号」の運行 (利用数延173団体・延4,066人)
- カ. ゆうあいひろばの管理運営
(開所日363日・利用者延78,403人)
- キ. 各種奉仕員養成講座の実施 (10講座・受講者延1,845人)
- ク. 要約筆記者派遣事業の実施
(派遣件数74件・活動者延74人)

③県社協からの受託事業の実施

- ア. 権利擁護センター「あすてらす」事業の実施
(利用者107人・相談件数延3,096件)
- イ. 生活福祉資金等貸付事業の実施
(貸付件数227件・相談件数2,541件)

平成23年度 宇都宮市社会福祉協議会 決算報告

事業別決算額(支出済額)

(1) 一般会計

①法人運営	231,047,314円
②福祉活動推進事業	35,333,655円
③ボランティアセンターの運営	10,804,712円
④善意銀行事業	130,000円
⑤総合相談センターの運営	3,908,597円
⑥権利擁護センターの運営	9,729,300円
⑦ざんなん基金事業	64,625,865円
⑧訪問介護事業	38,516,405円
⑨通所介護事業	27,376,176円
⑩障がい者居宅・生活介護事業	15,471,847円
⑪共同募金配分金事業	38,536,059円
⑫訪問介護員養成研修事業	2,113,149円
⑬老人福祉センターの運営	197,397,000円
⑭障がい者福祉センターの運営	37,062,811円
⑮心身障がい者作業所の運営	41,941,000円
⑯障がい者生活支援センターの運営	18,589,245円
⑰災害ボランティア事業	3,743,720円
計	776,326,855円

(2) 公益事業特別会計

①宇都宮市総合福祉センターの運営	71,652,000円
②河内総合福祉センターの運営	41,304,000円
③茂原健康交流センターの運営	120,845,623円
④地域包括支援センター御本丸の運営	27,656,566円
⑤上河内地域包括支援センターの運営	21,713,501円
⑥ファミリーケアサービス事業	5,219,229円
⑦身体障がい者福祉バスの運行	8,948,457円
⑧居宅介護支援事業	13,108,540円
⑨日中一時支援事業	21,409,710円
⑩移送サービス事業	994,381円
⑪ゆうあいひろばの運営	20,023,000円
計	352,875,007円

(3) その他の特別会計

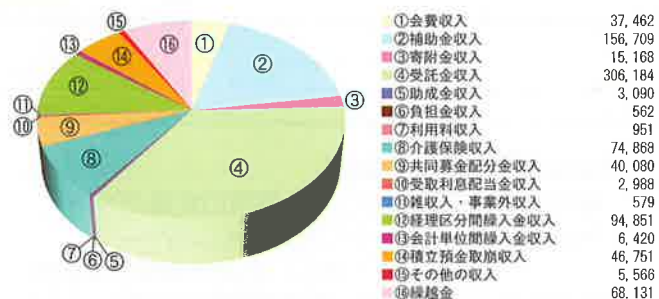
①生活福祉資金貸付事業	9,144,664円
②社会福祉資金貸付事業	114,306円
計	9,258,970円

収支決算額

(1) 一般会計

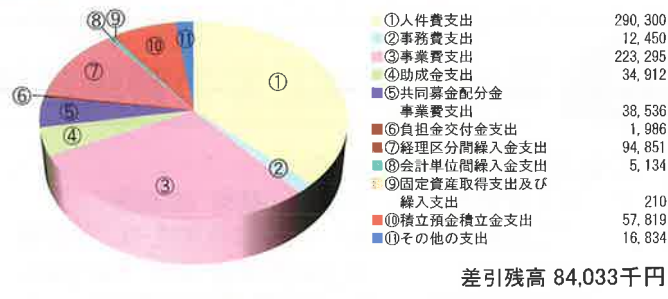
収入

860,360千円



支出

776,327千円



(2) 公益事業特別会計

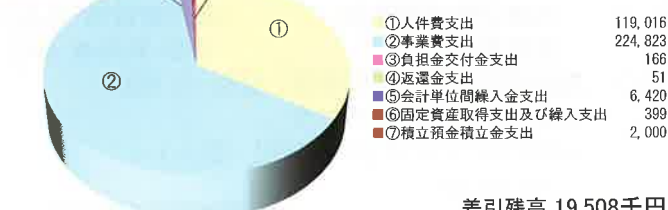
収入

372,383千円



支出

352,875千円



(3) その他の特別会計

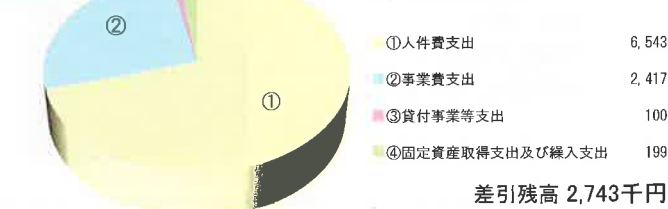
収入

12,002千円



支出

9,259千円



地区社協活動紹介コーナー

《お問い合わせ》地域福祉課

TEL 636-1215

FAX 610-6605

各地区において取り組んでいる地域福祉活動(事業)について、ご紹介します。



細谷 地区 社会福祉協議会

細谷地区は市街地の北西部に位置し、国道119号線、外環状線、新里街道が区内で交錯しています。区内には県域の福祉団体の事務所が集約されているとちぎ福祉プラザや、若草作業所、特別養護老人ホーム等福祉施設も多く、かつてからの田畑や雑木林の自然と、住宅化が進む地域の混在する地区です。

～ふれあい会食会～

毎月第2火曜日、北生涯学習センターを会場に、福祉協力員と民生委員が連携してふれあい会食会を実施しています。会食をするだけでなく、お花見や交通安全・保健に関する講話、フラワーアレンジメント、また、地域の子もたちとの交流なども行っています。参加者どうし、お互いの健康を気遣うなど、心のふれあいも促進されています。



会食前に子どもたちと「よろしくね」と握手。自然と笑顔がこぼれます。

～地区社協総会～



5月23日に、細谷地区社会福祉協議会総会が開催され、自治会長や民生委員・児童委員の皆様との連携・協働による各種地域福祉事業の推進の大切さを確認しました。また、当日は福祉協力員連絡会総会も併せて開催し、新規事業を含めた今後の活動の方向性を確認しました。

石井 地区 社会福祉協議会

石井地区は市の東側に位置し、東西に国道123号線、南北に新4号線が走る交通の要衝で、鬼怒川の右岸台地にかけて広がる地域です。田園地域、住宅地、商店街からなる、豊かな自然と都市化の進む地域の調和のとれた地区です。

～福祉協力員連絡会～

5月25日に石井地区福祉協力員連絡会総会が開催され、118名の福祉協力員に委嘱状が交付されました。福祉協力員は、進む超高齢化社会に、向こう三軒両隣の精神で、さりげない声かけ、見守りを確実に実行していくという役割への思いを新たにしました。石井地区では、毎月役員会、3ヶ月に1度は、自治会の代表者からなる連絡員会議を開催し、よりよい福祉協力員活動についての話し合いを行っています。



～福祉サロン事業～

石井地区には現在、自治会などが中心となって運営している福祉サロンが8ヶ所あり、誰もが気軽に参加することが出来るように、地域の身近な自治会公民館などで実施されています。

福祉サロンでは、カラオケや健康体操、レクリエーションなどを通して、参加者が楽しいひと時を過ごしなが、近隣の方々との交流を深めています。

地区社協からも、福祉協力員が運営に協力し、自治会役員、民生委員などと一緒に、集いを盛り上げています。



花見をしながら、野外サロン★



ボランティアセンターで行っている事業をご紹介します☆

善(ぜん)意(い)銀(ぎん)行(こう)

皆さまの善意をお預かりします。



善意銀行では、市民の皆様から善意で寄せられた金品の預託(寄附)を受け付け、必要としている方や施設等に払出(活用すること)を行っています。

Q どんなものを預託(寄附)できるの？

A [金銭] バザーの益金、お錢別の一部など
 [物品] 車いすなどの福祉機器、使用済み切手、プルタブ、ペットボトルのキャップ(エコキャップ)、書き損じハガキ、未使用のハガキ等



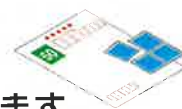
Q どのように活用されるの？

A 例えば…書き損じハガキ・未使用ハガキは、このように活用されます。



市民の皆様からお預かりした書き損じハガキを郵便局にて新しい切手やハガキに交換したものを換金し、宇都宮市の地域福祉活動やボランティア活動の推進・支援のために有効に活用させていただいています。

年賀状の書き損じ等、どのようなハガキの書き損じでもかまいません。ぜひ、皆様のご協力をお願いします。



対(たい)面(めん)朗(ろう)読(どく)



視覚障がい者や高齢者、または会話はできるが文字が読めない外国人の方など文字による情報入手が困難な方を対象に、朗読ボランティアが対面形式で情報を読みあげる「対面朗読」を実施しています。読みあげる文面内容の秘密は守られます。書籍をはじめ、電化製品の取り扱い説明書や郵便物等、ご希望のものをお読みします。

- [実施グループ] 朗読ボランティアグループ「ひびき」・「かっこう」・「風」
- [実施日] 毎月第2・第4水曜日 午後1時～午後3時 / 第2・第4土曜日 午前10時～正午
- [場所] 宇都宮市総合福祉センター8階
- [利用料] 無料

今後のボランティア体験プログラムのお知らせ

講座の詳細は、開催の都度、ボランティアセンターホームページや市広報紙等でお知らせします。

内容	開催予定日
エコキャップ 運搬体験 ボランティア	7/21, 8/18, 9/15, 10/20 11/17, 12/15, 1/19, 2/16 3/16 (全て土曜日になります。)



《お問い合わせ》
ボランティアセンター

TEL 636-1285
FAX 634-2870

福祉教育
シリーズ

共育

第4回

視覚障がい — Part.4 —

『視覚に障がいのある方への支援のポイント』

シリーズで掲載している福祉教育(共育)ですが、前号に引き続き、視覚障がいについてご紹介します。



前回は、視覚に障がいのある方の手引き(誘導)の仕方をご紹介しました。今回は、一緒に食事をするときなどの支援のポイントについて学んでいきましょう!(一つの例ですので、ご本人とコミュニケーションをとりながら支援してください)

☑狭い場所を通るとき

狭いところを通るときは、狭いところを通ることを伝えてから、手を後ろにまわし、1列に並んで通ります。



◎狭いところでは1列になります。

☑イスに座ってもらうとき

視覚に障がいのある方に、イスの背に触れてもらってください。それによってイスの位置や向きを知ることができます。



◎イスを引いて、背もたれに触れてもらいます。



◎「2時の方向にサラダがあります。」

☑ご飯を食べるとき

茶碗やお皿のある位置と、料理の内容を伝えてください。教えてもらえないと、どこにあるのかも分からず、料理も口の中に入れるまでわかりません。お皿の位置を教える時、時計の文字盤に例えるのも一つの方法です。



◎席を外すときは一声かけてください。

☑食事や会話の途中で席を外すときや、物の位置を変える時

話しをしている途中で席を外すときは、一言声をかけてから立つようにしましょう。相手がないのを知らずに一人で話し続けることになってしまいます。

また、ものの位置を変える際は、そのことを相手に伝えましょう。



次回、146号では「聴覚障がいの理解」を掲載予定です。

